

令和 6 年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	市民ネットワーク
議 員 名	岡田 直己
議員派遣先名	熊野町東防災交流センター，中央防災交流センター

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
調査費	5,718 円	旅費（車賃）
調査費	1,792 円	視察先への土産代
合 計		7,510 円

1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

近年、全国各地で自然災害が多発している中、これまでの大規模な災害において、課題の一つとしてペットに関する災害対策が注目されており、本市においても、基本的な対策を講じているが、熊野町ではペットが同行して避難できる避難所を設置するなど先進的な取り組みを実施していることから、活動内容の調査・研究するため、現地視察を行った。

2 実施概要 （1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	広島県熊野町 熊野東防災センター，中央防災センター
令和 7 年 1 月 2 9 日 13：30～15：00	担 当 部 局	議会事務局 市民生活部 防災安全課

報 告	【報告内容】 1. 当日の次第（13：30～15：00） （1）開会 （2）あいさつ ・ 防災安全課 危機管理監 西川 伸一郎 氏 ・ 三原市議会 岡田 直己 （3）平成30年7月豪雨災害とその後の取組、対応について （4）「ペットの災害対策（同行避難）について」の意見交換 （5）施設見学（東防災センター，中央防災センター） （6）閉会 ・ 三原市議会 岡田 直己
--------	--

2. 平成30年7月豪雨災害とその後の取組、対応について

(1) 平成30年7月豪雨災害の被害状況

死 者：12人（全員、大原ハイツ背後斜面の土石流による）

重 傷 者：10人（足切断、指切断、骨盤骨折、肋骨骨折など）

建物被害：163棟（令和元年7月1日現在）

(2) 災害後の主な取組

平成30年9月「熊野町防災拠点施設整備構想」の策定

平成31年2月「熊野町防災・減災まちづくり会議」開催

平成31年3月「平成30年7月豪雨災害の検証結果報告書」提出

令和元年9月「熊野町災害復興計画」作成

令和元年10月「熊野町防災・減災まちづくり条例検討委員会」開催

(3) 熊野町防災拠点施設整備構想について

以下の3施設を整備

① 東防災センター

② 中央防災センター

③ 西防災センター

【特徴】

・ ペット同行避難ができる

⇒平成30年7月豪雨の経験を活かし、飼い主が避難を躊躇しないよう整備

・ 乳幼児世帯専用のスペース確保

・ シャワー室や洗濯機置き場を整備

・ 備蓄倉庫を整備

・ 拠点施設の避難所に非常電源を整備

3. 「ペットの災害対策（同行避難）」についての意見交換

(1) ペット同行避難所設置について

1) 設置したきっかけと投資費用

・ 平成30年7月豪雨での避難所において、ペット避難の課題が発生したことがきっかけとなった。

・ 東防災交流センター整備費用：6億3千万円

（国の社会資本整備総合交付金を活用）

・ 西防災交流センター整備費用：1億1千万円

・ 中央防災交流センター整備費用：3千9百万円

(2) ペット同行避難所に関する取組状況と課題について

1) 避難訓練について

- ・広島県動物愛護センターや全日本動物専門教育協会と開催で実施した。

2) 感染症対策について

- ・ワクチン接種等と呼びかけ
(町が実施する狂犬病予防集合注射会場においてチラシ配布)

3) 避難できるペットの種類について

- ・各センターとも犬20匹、猫10匹、小型の愛玩動物
ただし、大型犬等は屋外または車中。
特殊飼育方法が必要な動物は受入れできない。

4) 避難所の備蓄品について

- ・ペットシートは備蓄しているが食料は好き嫌いがあるため、備蓄していない。

5) ペット同行避難に関する周知方法について

- ・ハザードマップ内に記載
(町が実施する狂犬病予防集合注射会場においてチラシ配布)

6) ペット同行避難の課題について

- ・人とペットの動線とペットのしつけ等
⇒各防災センターの構造が違うため、動線を分けた際、従事する職員が用意できない。

7) 各民間組織・団体との連携について

- ・広島県動物愛護センターを全日本動物専門教育協会と共催訓練を実施した。
- ・獣医師会等との連携はしていない。

4. 施設見学

- ・東防災交流センターを見学後、中央防災センターを見学した。(別添写真)

市政に活かせること（まとめ）	【所感】 熊野町では、平成30年7月豪雨災害の教訓を活かして、積極的に防災・減災対策の取組を実施していることを学びました。 特に、ペットの災害対策（同行避難）に関しては、その必要性を理解したうえで、飼い主の視点に立って、避難を躊躇しない対策を講じていると感じました。 本市においては、令和6年9月に市民防災訓練を実施し、その時に初めて、広島県動物愛護センター協力のもと、ペットの災害対策に関するコーナーを設置しましたが、これからは実際にペットを連れての避難を試みるなど、様々なケースを想定しての防災活動とその周知が必要と感じました。 今回の視察が、今後の本市の防災活動の発展に貢献できることを期待します。
-----------------------	---

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。



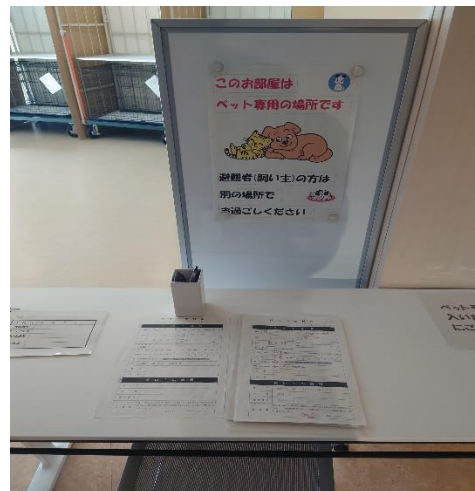
<東防災交流センター>



<ペット同行避難スペース>



<ペット用の備蓄品>



<受付場所>



＜室内エアコン完備＞



＜屋外にはドッグラン整備＞



＜中央防災センター（熊野町民会館）＞



＜ペット用ケージ＞



＜ペット避難スペース＞



＜ペット足洗い場＞